



### ニホンザリガニ（*Cambaroides japonicus* 絶滅危惧II類）

北海道の観光地の湖沼からは姿を消したが、冬でも凍らない湧水がある場所で、落ち葉を食べながら細々と世代をつないでいる。寿命は約10年ほど。2023年1月11日から売買取引が禁止されている（特定第二種国内希少野生動植物種）。

分布域は北海道および北東北（※栃木県では過去に支笏湖から日光に移植されていたものが一部残存）で、秋田県大館市では生息域が天然記念物に指定され、人工生息地の整備や人工増殖も行われている。



## 塘路フィールドノート【9/15～10/14】

### 【野鳥】

前例のない猛暑の夏でしたが、この秋の時期にはしっかり渡り鳥の飛来が本格化しています。これから水鳥たちがさらに増え、晩秋には猛禽類も加わり渡り鳥たちの最盛期を迎えます。



オオヒシクイ (シラルトロ湖)

9月下旬に第一陣、10月上旬に第二陣到着。体も声も大きく鳴き声が響き渡ります。



ヒドリガモ (シラルトロ湖)

冷泉橋付近で見られます。季節が進むにつれ婚姻色に変化していきます。



ヨシガモ (シラルトロ湖)

よく見ないと似たようなシルエットのカモ類が多いです。湖全域で群れています。



チュウダイサギ (塘路湖)

毎日小魚を狙っているのが見られます。青空の湖面とコントラストが映えます。



ミヤマカケス (塘路湖畔)

ドングリを色んな場所に隠すのでブナ科の分布に一役。他の鳥や哺乳類のものまね王。



ヒヨドリ (シラルトロ湖畔)

幼鳥でもうるさい声は親譲り。日本周辺にしか生息していない海外の人憧れの鳥？

## 【植物】

ようやく湖畔の風景に赤色が目に付くようになってきました。今年は猛暑の影響か各地で紅葉が10日以上が遅れが指摘されています。色合いも例年に比べ薄く、さらには夏の花がこの時期まで続くという状況です。



ナギナタコウジュ (薙刀香薷)  
秋に咲く紫の花で強い匂いがあり、乾燥させて生薬として利用されてきました。



コウライテンナンショウ (高麗天南星)  
初夏に咲く花は地味ですが、真っ赤な果実は存在感抜群です。別名マムシグサ。



ヤチダモ (谷地・ダモは木偏に佛)  
他の樹木が赤くならない状況で黄色が目立っています。今年は散るのも早い。



カラゴギカエデ (唐子木楓)  
ごく一部のみ紅葉が見られるほど今年は色付きが遅い状況です。湿地に多い楓類。



ニシキギ (錦木)  
赤く色付いた葉が一部見られます。これから全体が紅葉しますが今年は実が少ない。



エゾオオヤマハコベ (蝦夷大山繁縷)  
北海道では普通に見られますが長野県の絶滅危惧IB類。今年は花期が長いようです。

## 【昆虫】

秋といえば赤トンボの季節。その存在感、飛び交う姿を見て秋を実感します。冷え込む日が少ない分、他の昆虫も活動しています。



アキアカネ (塘路湖畔)  
その存在感、色合い、飛翔の姿は赤トンボの代表格でしょう。



キトンボ (シラルトロ湖畔)  
今の時期最も見かける機会が多い赤トンボ。湖岸から草原まで幅広い場所で見られます。



エゾトンボ (シラルトロ湖畔)  
出現期間が長いトンボ。縄張りパトロールで人間に出くわして警戒ホバリング。



コノシメトンボ (二本松)  
あまり飛び回らずに暗い場所を好むといわれています。成熟して赤くなるのはオス。



ウラギンスジヒョウモン (コッタロ)  
草の上を舞い続けて時折休憩。翅の裏の模様の違いで分類されます。



オオセンチコガネ (二本松)  
動物(エゾシカ)の糞を好むコガネムシ。青や紫など色のバリエーションがあります。

## 秋の紅葉を見に行こう 開催しました

塘路湖畔において10月14日(土)にふれあいイベント「秋の紅葉を見に行こう」を開催しました。森林インストラクターを講師に迎え、朝ドラのモデルとなった植物学者、故)牧野富太郎氏が名付けたとされるユウゼンギク(友禅菊)の解説から始まりました。よく似た樹木の見分け方は、松ぼっくりやドングリのような結実以外にも、葉の形、葉柄にある蜜線などを観ることで、落ち葉でも見分けが出来ることや、カツラの臭いを皆で感じたり、森林を五感を使って楽しむ術を学びました。参加者12名



### 【開館時間変更のお知らせ】

11月1日(月)よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○10:00～17:00 → **10:00～16:00** (令和6年3月31日まで)

## 11月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 初冬のキノコ講座

[日 時] 11月4日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### クリスマスリースを作ろう

[日 時] 11月25日(土) 13時～15時

[定員・参加料] 10名 500円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### 初冬の植物を見に行こう

[日 時] 11月12日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

### クリスマスリースを作ろう

[日 時] 11月26日(日) 13時～15時

[定員・参加料] 10名 500円(材料費)

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 9/30(5:17,17:06). 10/15(5:34,16:40).10/31(5:54,16:16)

～指導員の独り言～

■トンボほど日本人に親しまれてきた昆虫も他にないのではないかと。古事記にも虻にかまれた天皇がその虻を齧り去ったトンボを見て勝虫としたエピソードがある。曲では童謡唱歌の「とんぼのめがね」から三木露風の「赤とんぼ」、一風変わった、あのねのね「赤とんぼの歌」など。数あるトンボ曲のうち中年男性がカラオケで唄うのは長洲剛の「とんぼ」だろう。ちあきなおみの隠れた名曲「紅とんぼ」の舞台は新宿駅裏。生き物としてのトンボは一切登場しないが、心にしみる。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野  
TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004  
E-mail:emc@kushiro-shitsugen-np.jp

インスタグラム [torokoemc](#)

開館時間:10:00～17:00

(11～3月:16:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料